



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2018年11月28日号



◆学芸員自然と歴史のたより◆

電信線を最初に描いた日本人

広瀬格蔵「環海航路日記前編」。

この単純な絵は、1860年近代日本初の外交使節団員(万延元年遣米使節団)が、パナマ鉄道に沿って敷設されていた電信線を描いたものです。

「テレグラフ(Telegraph)」の説明は、「車(蒸気機関車)を出す前、合図する者(物)。百里・二百里は、目ばたきの間にわかる。」

出発するという伝言が、瞬きしている間に情報が届くというのです。

電線の太さは、お箸ほど、高さ5.4メートルの柱が、9メートル間隔で並んでいた。

その凄さを漢詩で、「置郵何用尺書傳電氣巧成疾似弦一縷神機千里外寄言頃刻幾回旋、傳信機(何用の尺書を置郵するに、傳電氣は巧成にして、疾きこと弦一縷に似たり、神機は千里の外、頃刻にして幾回旋して言を寄す、傳信機)」(北條煥)と、神速を表現しました。

この後、ヨーロッパも見分した福沢諭吉が、電信網を地球を取り巻く「蜘蛛の巣」(spider's web)のようだ表現したのは、慶応2年1866年のことです。

そうです、今当たり前にWEBの恩恵にあずかっている現代人の生活は、19世紀から始まっていたのです。

ちなみに、日本へ最初に電信機を伝えたのは、1853年M.C.ペリーです。

翌年オランダも幕府へ献上しました。

その効果を理解し、慶応2・3年には全国の電信網を計画し、維新で途絶しました。

しかし、新政府は直ちに計画を継続し、明治4年1871年、中国の上海と長崎を海底ケーブルで結び、明治11年3月に全国の通信網が完成しました。

(文献史学担当：安池)

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/26325>

◆展示情報◆

企画展示「初公開！仏国メラング家で見つかった横須賀製鉄所資料」

2018年12月15日（土）～2019年3月24日（日）

フランスに伝わった新規収蔵資料を一堂に展示！

日仏交流160周年目にあたる2018年、博物館では、フランスに残されていた横須賀製鉄所の貴重な資料を新たに収蔵しました。

資料は、横須賀製鉄所のフランス人製図工長メラングの子孫に伝来したものです。

メラングは、日本初の洋式灯台である「観音埼灯台」の製図を担当した重要人物で、部下の製図エバスティアンは、「世界遺産富岡製糸場」の設計に関わりました。

幕末・明治の横須賀の写真や日記、図面など貴重なコレクションの数々をご覧ください。

おもなみどころ

☆幕末・明治の横須賀の写真！ 写真資料一式をパネル展示します。

☆むかしの地図！ 東京湾沿岸部の古地図に横須賀の地名がたくさん登場します。

☆文献資料群！ メラングの横須賀製鉄所の名刺や文書、日記など。

【関連行事】

展示解説 12月15日（土）、2019年3月9日（土） いずれも13:00～14:00 本館特別

展示室 参加自由

フランスから収集した各資料を学芸員とともに鑑賞します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/25325>

海洋研究開発機構（JAMSTEC）によるパネル展～日本近海の深海生物パネル展～

2018年12月14日（金）～2019年1月14日（月）

横須賀市内に本拠地を置く JAMSTEC（海洋研究開発機構）の協力により、

これまで日本近海の深海で潜水調査船や深海探査機によって撮影された深海生物の写真や映像を、
写真パネルとビデオ上映によって紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26352>

トピックス展示「イノシシ・猪・亥年」

2018年12月1日（土）～2019年1月27日（日）

平成31（2019）年は亥（い=いのしし）年です。
干支にちなんでいろいろなイノシシの写真や標本、
横須賀市内の貝塚から出土したイノシシの骨、
イノシシに関連した名前の生き物などを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26337>

トピックス展示「『夜明け前』の横須賀 青山半蔵ゆかりの人と幕末・明治」

2018年12月23日（日）まで

明治維新150年を単なる政治史上から見るのではなく、
横須賀という地域の風土を、
島崎藤村著『夜明け前』を語り部としつつ、
その前史から近代までを、
関係深い「永嶋家旧蔵文書」を駆使し読み解く。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26059>

◆イベント情報 ◆

研究発表会「みんなの理科フェスティバル」

2018年12月14日（金）～2018年12月17日（月）

小学生から高校生・一般まで、さまざまな理科工作・理科研究を一同に展示します。
博物館でも関連イベント・展示を開催します。

文化会館でのイベント 会場：文化会館3階 第1市民ギャラリー

☆成果物展示 12月14日（金）～17日（月） 9:30～19:00

☆みんなの発表会 12月16日（日） （1）10:00～12:00 （2）14:00～16:00

こどもからおとなまで、みんなの研究成果の発表の時間です。ぜひ聴きにきてください。

☆つくってみよう！ワークショップ 12月16日（日） 10:00～16:00

作って持ち帰ることができる理科クラフト！

博物館でのイベント ※12/17（月）博物館は休館です

☆自然館ミュージアムトーク

12月15日（土） 14:00～15:00（本館2階ナウマンゾウ前集合）

博物館の学芸員が展示や理科フェスのみどころを解説します。

☆海洋研究開発機構（JAMSTEC）によるパネル展

12月14日（金）～2019年1月14日（月・祝） 9:00～17:00（本館1階講堂）

☆自然環境講演会

12月15日（土） 14:00～16:00（本館1階講座室）

主催：横須賀市（自然環境共生課） 共催：横須賀市自然・人文博物館

海洋研究開発機構（JAMSTEC）の先生による楽しい研究のお話です！

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25333>

自然館ミュージアムトーク（12月）

2018年12月15日（土）

申込不要。

博物館の学芸員が展示や理科フェスのみどころを解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25345>

博物館教室「横須賀ジオツアー（地層観察講座）」

2019年1月12日（土）ほか全5回

事前申込制。

三浦半島の地球科学について解説し、横須賀市内の地層や岩石を野外で観察します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25359>

天神島ガイドツアー（12月）

2018年12月23日（日）

申込不要。

天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25400>

発行：横須賀市自然・人文博物館

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>